

Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長
ゲイリー C.K. ホン
(黄其光)



静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
伊藤洋一郎



第 2676 回例会

平成 26 年 7 月 17 日 天候 晴

- 《司 会》 相原雄治 君
- 《合 唱》 「手に手つないで」
- 《BGM》 「ボサノバ」
- 《ゲスト》 KNOTS OF ART 代表
京極美穂子 氏
- 《ピジター》 なし

- 《本日のお祝い》
- お誕生日 結婚記念日
- なし なし

《会長挨拶要旨》 「仲間作りを支える

コミュニケーションということについて」

1. 私は、今期 静岡東ロータリークラブの目標を支えるものとして「仲間作り」「仲間になろう」ということを申し上げています。そのことについて、少し考えてみました。
2. 仲間になるというためには、会員相互において良いコミュニケーションをとってゆくことが大切です。それによって、お互いが絆によって結ばれ、仲間作りができるのではないかと考えました。
3. では、コミュニケーションとは何かです。
「コミュニケーション」とか「意思の疎通」とかいうと私たちはすぐに言語・言葉によるコミュニケーションを想定します。
4. しかし私たちが発する言葉は、実はそれ自体では単体では無力であって意味をなさない。言葉は想いを伝えるもの、その想いが伝わるとはどういうことなのか、と考えました。
私たちが相手方に想いを伝え、相手方がしっかり



とその想いを受け止めることで、私たちはそれぞれの想いを感じる。そして その結果、相互に信頼を形成することができるのでしょ

5. では、その相互の信頼とは何か。

たとえば言葉ではなく「香り」が人の想いを伝えることがあります。香りに想いをのせて伝えようとするときがあります。

① 香りは、眼に見えないもので、言葉でもなくただ感じることによるのみ認識できるものです。しかし思い出の香りはいつまでも人の思い出の中に残り、その想いが自分を形成することがあります。眼に見えないものだからこそ本物の想いを伝えます。

そんな香りを受け止めるには、香りを伝える側が発信するとともに、香りを受け止め感じる者がその香りに歩み寄って初めて感じるができるものです。受け止めようとする人の想いと書いてもいいものです。「心が伝わる」ということはそういう送り手と受け手の相互のメカニズムなのだと思

② そして、その受け止める感じる力は、自らが感じる環境を作らなければなりません。その感じる力のための環境を作るということは、実は自分の心を育てるといことなのだと思

③ 香りは、眼に見えないからこそ本物を伝える。本物を感じる人にだけ眼に見えない本物を伝えるのです。

6. まるで恋愛論みたいになりましたが、申し上げたいことは、ロータリークラブは、職業の種類も異なり、身分も性別も異なる人たちが、単にロータリアンというただシンプルなその一点においてのみ、信頼の絆によって結ばれて社会への奉仕を想う集まりではないでしょうか。

静岡東ロータリークラブの会員として参加した私たちは、ロータリアンというただその一点によってのみ、シンプルにまっさらな気持ちで、強い絆で結ばれたいと思いませんか。

そうであるならば、それぞれの会員が、この例会においてもそれ以外でも自分の感性を解放して、仲間を受け入れる環境作りをして、他の会員の感性を感じて実のある仲間作りをしませんか。

《新入会員入会式》

(医)板井クリニック事務長の板井由紀子君が新たに入会され、入会式を行いました。

《富士山環境保全支援金のお願い》

社会奉仕グループの村松重治君より、標記支援金の依頼があり、総額 37,000 円の支援金が集まりました。

《来賓卓話》

KNOTS OF ART 代表 京極美穂子 氏



「ノッツオブアート」の京極です。平成二十四年の秋にこの事業を始めるまでは、専業主婦でした。「ノッツオブアート」はアートの結び目という意味で、人間関係の交流が薄くなりがちな今、事業を通してちがう世代の人たちが出会い、またこれまでのご縁が復活するような暖かい場を提供したいという思いで名づけました。事業内容は、クラシック音楽の主催演奏会の開催と、ご要望に応じた内容でのミニ演奏会の提供です。演奏者は、日本の未来のクラシック界を牽引していくレベルの若手演奏家。特に、桐朋学園大学出身の弦楽器奏者で構成するメンバーです。

日本では、高いレベルの演奏能力とクラシック音楽の伝統を受け継いでいく若手演奏家へのサポートが薄く、興行やビジネス優先の企画会社ばかりです。ノッツは、「クラシック音楽をフェアトレードする」をモットーに、演奏家の育成を目標に、若手演奏家サイドに立った取り組みで、最高質の演奏会を提供できる企画会社であることを目標としています。

クラシック音楽は西洋のものではありますが、日本の古典芸能に近く、本当に世界の中で活躍するような演奏家を育てるには小さな頃からレッスンと練習の積み重ねが必要です。長い時間をかけて育て、世代でバトンをつないでいかなければならない大切に数少ない文化なのです。彼らの価値を広めていきながら興行になりすぎず、きちんと伝統を引き継ぐという難しいバランスに挑戦し続けなければなりません。

本当に良い演奏というのは、人々の心に癒しを与えてくれるものだと思っています。そして現在のストレス社会においては、この癒しこそ必要とされています。クラシック音楽には興味がなかったというお客様が、毎回来てくださるのは、この癒しの効果だと思うくらいなのです。

そしてもう一つ、今回のテーマにもさせていただきましたが、音楽やアートが町にどのような効果をもたらすのかについて。最近では地方都市で芸術が町を活性化する事例がたくさんでてきて、注目を浴びています。音楽で言えば、サイトウキネンや水戸室内管弦楽団。アルゲリッチ音楽祭など多数の音楽祭が繰り広げ

られ、海外との交流を深めつつ地方の文化的経験の向上をはかり、やがては町の経済にも良い影響をもたらすようになっていきます。

静岡でも、県内にこだわらず、首都圏や海外の若者にも、もっとチャンスを開いて行くべきだと感じております。そのため、私はしっかりと価値を浸透させ自分のお金で文化的楽しみに参加するという人々を育てる必要を強く感じており、色々悪戦苦闘しながらも、コンサートを続けてきました。その結果、事業への応援の意味を込めて協賛いただける企業・個人さまが増え、本当にありがたく感じております。

静岡の方に応援していただきながら、ノッツオブアートの若手演奏家たちが国内外で活躍し、次の世代に伝統の教育と演奏を引き継いでいくことができる未来を心より願っております。

《スマイル報告》

- 伊藤洋一郎君 本日、京極美穂子さんを卓話者としてお迎えできたことを喜びとして。
- 村松重治 君 本日お願いした富士山環境保全支援金の皆様のご協力に感謝してスマイルします。
- 相原雄治 君 本日の卓話者、京極さんの卓話に感謝しスマイルします。
- 板井由紀子君 本日、入会させて頂きました。朝からとてもドキドキしております。どうぞ宜しくお願いいたします。
- 杉田至弘 君 新会員 板井由紀子さんの入会を心から歓迎しスマイルします。
- 戸塚敦雄 君 懐かしいテニス仲間の板井由紀子さんの入会を歓迎してスマイルします。
- 新聞桂子 君 板井由紀子さんの入会を歓迎します。末永くクラブライフを楽しんでください。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
7/17	50(49)	41	8	-	-	-
7/10	49(48)	40	8	-	-	-
7/3	49(48)	43	5	0	5	89.58%